

ヒメフタオカゲロウ

Ameletus montanus

フタオカゲロウ科

名前の由来

ヒメは「姫」で小さいの意、フタオは「二尾」で成虫に体長と同程度の2本の尾があるためと考えられる。カゲロウは成虫での寿命が短いため、はかなく消える「陽炎」になぞらえたとされている。漢字名：姫二尾蜉蝣



ヒメフタオカゲロウ（幼虫）

（撮影：宮下 力）

形態的特徴

幼虫の特徴：終齢幼虫の体長は約10～15mm。暗灰色で体は紡錘型。上唇は褐色で中央に淡い条痕がある。エラは葉状、尾は3本で体長より短い。前肢に長い毛がない。

成虫の特徴：体長約9～13mm、前翅長約10～13mm。腹部背面は黄色に茶のストライプ模様。複眼は鮮やかな黄色。尾

は2本。

類似種と見分け方：マエグロヒメフタオカゲロウ。

マエグロヒメフタオカゲロウの上唇は淡褐色で一对の褐色条痕がある。

生息環境・分布

上流部の淵の岸際に生息する。

水質との関係：清冽な水域の指標種となる。

分布：国外分布は、ロシア極東部。

国内分布は、北海道・本州。

北海道内では、普通に分布。

十勝地方では、普通に分布。

食性・他の生物との関わり

藻類や有機物粒子のほかユスリカ幼虫も捕食する雑食性。魚類の餌となる。

繁殖生態・寿命

大卵塊を腹端につけたメスが水面に降下して卵塊を落とす。

一年一化（1回発生）。

寿命：成虫での寿命が1週間を超えることがある。



ヒメフタオカゲロウ（成虫）

（撮影：宮下 力）

興味深い話

■清澄な水域の指標種となる。

■カゲロウは、儚い物の例えにされてきた通り、羽化後の寿命は1時間～2週間（多くが1～2日）と大変短い。そ

のため、羽化や繁殖行動は一斉に起こる。フタオカゲロウ科成虫の寿命は長い方で、1週間を超えることがある。

配慮事項

河川蛇行部の内側や巨岩の下流部の淀みなどが重要な生息場所となる。また河岸の砂礫のすき間に若齢幼虫が生息す

るので、水辺の砂礫が締まって固まらないことが大切である。

生活サイクル

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
卵期・幼虫期	■											
成虫期							■					

参考文献

「アングラーのための水生昆虫フィールドノート」宮下力 出版文化社 2000

「水辺の昆虫」今森光彦 山と溪谷社 2000

「日本産水生昆虫検索図説」川合禎次 東海大学出版会 1995

「水生昆虫の世界一流水の生態」大串龍一 東海大学出版会 1981

「日本動物大百科8 昆虫I」日高敏隆 監修 平凡社 1996

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

（在来種）
草花

（外来種）
草花

哺乳類

（水辺）
鳥類

（草原・樹林）
鳥類